

タブレットを活用して、「卒業記念スピーチ」をする一連の活動
(NEW CROWN English Series3 Lesson7 For Our Future 「20歳の自分にビデオメッセージを作ろう」)

①話・発

②個・学

③タブ

④ボイスレコーダー

【ここがポイント！】

①「ALTのモデルスピーチを繰り返し視聴」

ALTが各生徒用に吹き込んだモデルスピーチを、生徒それぞれのタブレットで繰り返し再生して聞くことができるようにすることで、生徒が自らのスピーチとALTのモデルを聞き比べ、違いに気付いて修正したりすることができるようにする。

②「タブレット端末の録音・録画・再生機能の活用」

自分の思いが聞き手（仲間）に効果的に伝わるか確認するために、個人練習時に自らのスピーチを録音する。録音後には仲間とスピーチと一緒に視聴しアドバイスを伝え合う。また、生徒が単元を通して録音した自分のスピーチを比較することで、自らの変容に気付くことができるようにする。

【実践の目標】

卒業記念ビデオメッセージを作るために、20歳の自分に伝えたいメッセージや質問等について、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

【実際の場面】

1. 課題を把握する

パフォーマンス課題を把握し、英語でのスピーチの展開や構成の仕方など、ビデオメッセージを作るための見通しをもった。

2. タブレット・辞書等を活用してスピーチの内容を考える

トピックを決めて、スピーチの展開や構成を考えた後、必要に応じてタブレットや教科書、辞書等を活用して語句や表現を調べながら、モデルスピーチを参考にしてスピーチメモを作成した。



神石高原町立三和中学校



3. 互いのスピーチを聴き合い、気付きを交流する

スピーチメモを読み合ったり、互いのスピーチを聴き合ったりして交流した。分量、内容、文法事項等についてアドバイスを交換し合い、加筆・修正後にスピーチメモを教師に提出した。

4. 個人練習をした後、タブレットに音声を録音して確認する

教師から返却されたスピーチメモを確認した。個人練習後、タブレット（ボイスレコーダー）に音声を録音して、自分のスピーチを確認した。

5. ALTのモデルスピーチを繰り返し聴いて、話し方の改善を図る

ALTが各生徒用に吹き込んだモデルとなる音声をタブレットで聴いた。自分の発音、区切り、強弱等とALTのモデルとの違いや改善点を見つけ、音声面の工夫点をスピーチメモに書き込んだ。

6. 自己・他者評価を基に、スピーチの修正・改善を図る

ペアでスピーチを録画し合い、互いのスピーチを観て、評価し合った。工夫しようとしたところが実際はどのように表現できているかを中心に、気付いたことを振り返りシートに記入し、改善を図った。

7. スピーチをする（録画する）

スピーチメモの作成やスピーチの練習を通して改善を図ってきたことを生かして、スピーチを行った。

【成果と課題】

【成果】

- 生徒の各タブレットにALTのモデルスピーチを保存しておき、いつでも聴けるようにしたことで、スピーチの際に音声面の工夫を取り入れる生徒が増えた。
- タブレットでスピーチを録画し、すぐに自分達で視聴・交流できるようにすることで、工夫しようとしていた点がどのように表現できているかを客観的に振り返らせることができた。

【課題】

- ICT機器を使うことを目的にするのではなく、生徒の学習意欲や思考力を高めるための言語活動とするために、ICT機器の効果的な活用法を考えていく。
- 生徒が言語活動の質の向上を図るために、更に細かなルーブリックを作成する必要がある。